

広報かねやま

KANEYAMA



September

9

2019

No.681

● COVER

豊穰祈り 獅子舞う竜馬の麓

稲沢地区 不動明王まつり



荒屋地区の生家に数千本の大輪——

故郷に咲かせたひまわり

夏の花と言えば？——そう、明るく元気なイメージのひまわり。この夏、荒屋地区のとある一角を彩った一際目を引くひまわり畑を、皆さんはご覧になりましたか？

数千本にも及ぶ大輪のひまわりを育て上げたのは、町出身の花輪洋子さん（69歳）。生家の敷地を利用し「故郷のために何かできることはないか」と考え始めたのがきっかけと話します。平成24年、手始めに田畑の整備からスタート。この時はまだ具体的な利用方法は考えていませんでしたが、お住まいの天童市から定期的に町を訪れては、少しずつほ場を綺麗にしていきました。そして3年前、たくさんの人が集まれる場になるように願いを込め、作物はひまわりに決定。今年は5月25・26

日に1万本分の種を、ひとりで植え付けました。その後も週に1度は訪れ、朝4時から日が暮れるまで入念に手入れ。その姿を見ていた地区の皆さんも「このひまわり畑は花輪さんの努力の賜物だ」と手をたたきます。

10代で故郷を離れた花輪さん。「今では町を出て過ごした時間のほうが長いが、金山が大好きだ。今でもよく故郷自慢をしている」と笑います。関東に生まれ育ち、今年大学に進学したというお孫さんも金山のファンだそう。「休暇期間を利用して金山にしばらく滞在したこともある」と続ける花輪さんはとても嬉しそう。手塩にかけて育てたこのひまわり畑も、さらに金山ファンを増やしてくれそうです。

夏らしい青空が広がった8月3日、昨年に引き続き2回目の「金山向日葵まつり」が開催されました。タイミングが合うように一度に植え付けたひまわりも、思惑通り満開。町内外からたくさんの友人らが駆け付け、見事に咲き誇った大輪を觀賞していました。花輪さんは「皆さんの協力に感激だ」と目を潤ませていました。

来年はさらに植え付け面積を増やす予定だという花輪さん。「10年は頑張る」と明るく笑う顔はまるでひまわりのよう。「人が好き・金山が好き」から誕生したひまわり畑。花輪さんの思いが詰まった夏の結晶です。ほんの一時だけ咲かせるその美しさを、来年の夏も楽しみにしています。

▼育てあげたひまわりに囲まれて太陽のように笑う花輪さん



も く じ Contents

- P3 ◆かねやまわんとび
故郷に咲かせたひまわり
- P4 ◆彩—S A I— 夏をいろどる金山まつり
- P6 ◆町政NEWS
- P8 ◆まちのわだい
消防操法最上支部大会で柳原消防団が2位
大盛況のめごたまマルシェ
みずぎ荘納涼会でめごたま園児と交流
ぼすとでパステル画教室を初開催
金山校が小規模校サミットに参加
「男の料理」も生きがいに
カネカ蔵カフェで弾き語りライブ
- P10 ◆ほっとクリニックvol.127
いつまでも住み慣れた金山で Part.10
はじめての Birth Day ほか
- P12 ◆お知らせ掲示板
10月13日はみんなで産業まつりに行こう！
消費税・地方消費税の税率は10%へ
- P14 ◆図書室だより・道草便り Vol.17
ぶんげい・東京金山会通信 No.5

= 今月の表紙 =



夏の祭りは金山まつりだけじゃない——。8月、多くの地区が夏祭りで賑わいました。

稲沢地区では14日、不動明王まつりを開催。五穀豊穡や家内安全を祈願して、お神輿が地

区内を練り歩き、先導する稲沢番衆が、各所で獅子舞によるご祈禱を行いました。さらには少年相撲、夜には花火が打ち上げられ、帰省客とともに、故郷の夏を楽しみました。

9月行事予定表

【町立金山診療所 診療予定】

㊤▶ 疼痛外来 ㊤▶ 小児科外来 ㊤▶ タ診

1 (日)	金山町総合防災訓練	
2 (月)	拠点づくり	㊤
3 (火)	1歳6か月児健診	
4 (水)	すこやか相談、リトミック教室 子宮頸がん・乳がん検診 かねやま大衆校開校式	㊤
5 (木)	9月議会定例会（12日まで） 心配ごと相談、ベビーマッサージ	㊤
6 (金)	男性ドック健診・総合健診 女性ドック健診	
7 (土)	マタニティ教室、焼きもの教室	
8 (日)	かねやま青空市	
9 (月)	拠点づくり	㊤
10 (火)		
11 (水)	小児救急講習会 すくすくプレイランド	㊤
12 (木)	ホットさろん ママと赤ちゃんのケア教室	㊤
13 (金)		
14 (土)		
15 (日)	福寿会 東日本チエンソーアート競技大会（16日まで） 第30回森林交流マラソン大会	
16 (月)		
17 (火)	心配ごと相談	
18 (水)	すこやか相談、拠点づくり	㊤
19 (木)	男性ドック健診・総合健診 寿大学舞台発表会	㊤
20 (金)	焼きもの教室	
21 (土)	秋の交通安全県民運動（30日まで）	
22 (日)		
23 (月)		
24 (火)	女性ドック健診、心の健康相談 わらべうた・読み聞かせ教室	
25 (水)	心配ごと相談、すくすくプレイランド	㊤
26 (木)	リフレッシュヨガ教室	㊤
27 (金)	男性ドック健診・総合健診 ヘルシー料理教室	
28 (土)	バブルサッカー in 神室 めごたま大運動会	
29 (日)	第44回とこみどりマラソン大会	
30 (月)	拠点づくり	㊤



今年も金山まつりが開催され、町内外からの観覧者や帰省客などで大いに賑わいました。担い手不足などの課題を抱える中、5地区の若連が山車を制作。8月14日の宵まつりと15日の本まつりにおいて、威風堂々と町内を巡回しました。

山車コンクルの審査員を務めた鈴木町長は「わずかな差で羽場若連に軍配が上がった。しかしどの若連もレベルが高い。これからも、山車制作を通して金山まつりを盛り上げてほしい」とそれぞれの山車を評価し、祭りの隆盛を祈念していました。

山車、囃子、花火——。皆さんのひと夏にかける想いが、今年も夏を彩りました。

1_七日町若連 風流「義経千本桜 道行初音旅」を観覧する夜空市の来場者 2_昨年に引き続き披露された仙台すずめ踊りに拍手喝采 3_高らかに響く中田若連による囃子 4_審査員が並ぶ役場前では掛け声にも熱が入る 5_安沢若連による囃子には小中学生も多く参加 6_白壁に映える内町若連 風流「茨木 綱館の場」 7_山崎若連 風流「左甚五郎昇り龍」。みすぎ荘利用者の皆さんも祭りを楽しんだ 8_五穀豊穰・安寧を願いみこし渡御 9_きごころ橋から見る十日町若連 風流「楼門五三桐」 10_羽場若連 風流「京鹿子 娘二人道成寺」と羽場地蔵尊 11_大堰ライトアップとともに望む納涼花火。台風の影響で延期も何のその 12_大人も子どもも「チェレンコヤッサー！」 13_宵まつりで息の合った囃子を響かせた荒屋若連 14_威勢の良い掛け声が祭りを盛り上げた



令和元年度金山町成人式が8月14日、農村環境改善センターを会場に挙行されました。対象となる新成人は男性32名、女性27名の計59名。久しぶりに再会した仲間と笑顔で近況を報告したり、当時の思い出を話したりと、会場は懐かしさに高揚しつつも、大人としての門出に少し緊張感のただよう、成人式ならではの雰囲気にも包まれていました。

式典では、中学校の恩師である小野寺淳先生が当時を振り返りながら、教え子たちにエール。新成人を代表して実行委員長の柴田龍一さん（入有屋）が「現在ではそれぞれの道を進んでいるが、私たちは皆、金山の大自然や人々のあたたかさにも包まれて育った。これからの社会を支える一員としての自覚を胸に刻み、誇りを持って生きていくことを誓う」と応えるように決意の

1_式に参加した新成人49名で集合写真
2_代表のこたばを述べた成人式実行委員長の柴田龍一さん
3_当時3年A組を担当した小野寺淳先生が恩師を代表してあいさつ
4_記念品として成人者から町へ大型絵本3冊が贈呈された
5_講演で熱弁をふるった皆川町政策顧問
6_一人ずつ名前が呼ばれ堂々と返事をする新成人ら
7_講演後の質疑応答では若者らしい意見に会場が沸いた



令

和初の金山町成人式を挙行
新成人が未知なる道を歩み出す――

言葉を述べました。

また、二十歳の提言では、町政策顧問である皆川芳嗣さんが「農福・農泊は日本を救うか?」と題し講演。「全国的に人口減少や高齢化、担い手不足が課題。農業が主産業である金山で、農福・農泊に挑戦することは大きな意味がある」と希望ある見解を述べられていました。

式の後に行われた「二十歳の集い」でも、タイムカプセルを開封するなどして大いに盛り上がりました。

木

の建築フォーラムが最上地域で研究会
大美輪など金山杉の森林を見学

地域に根ざした質の高い優れた木造建築の普及やそれらを継承するまちづくりの推進などを実践しているNPO法人木の建築フォーラム（松留慎一郎理事長）が7月18～19日、最上地域を会場に研究会・現地見学会を開催しました。

金山町森林組合の狩谷健一常務理事から、林業・製材の取り組みについて事例報告があったほか、大美輪の大杉や日輪舎など、町内各所を視察。参加者は、長伐期などが特徴とされる金山の林業実情について、理解を深めていました。



丹

運太郎さんに町からお祝い金を贈呈
健康の秘訣は「日記と読書」



丹運太郎さん（七日町）が、8月8日に100歳の誕生日を迎えられ、鈴木町長からご本人へ賀詞やお祝い金が贈呈されました。運太郎さんは大正8年生まれ。ご自身にとって4時代目となる令和を元気に迎えることができて「金山に生まれて幸

せだ」と、昔を懐かしみながら白い歯を見せていました。

運太郎さんいわく、健康長寿の秘訣は「日記をつけることと歴史の本を読むこと」だそう。これからも健康に留意され、長生きしてください。長寿、おめでとございます。

マ

マルコの蔵で「奥山敏彦展」や「大滝博子創作人形」
西蔵・東蔵のギャラリーで各種展示

マルコの蔵では、西蔵1階と東蔵2階のギャラリースペースを利用して、様々な展示を行っています。

東蔵では、中学校の美術教諭として長年活躍され、7月に亡くなった奥山敏彦さんの絵画作品を8月19日まで展示。大堰の鯉や金山杉など金山の四季風景もギャラリーを彩りました。

また、8月29日までの期間、西蔵では大滝博子創作人形展を開催。町在住者の「お盆期間に合わせ、帰省客などに見てもらいたい」との思いから実現しました。全国にファンが多い大滝さんの作品。町での初展示を受け「金山の雰囲気とも合う作品だ」と大滝さんは話していました。

現在は、やまがた百名山写真展を9月23日まで開催中。今後も各種展示を行う予定です。ので、お気軽にお立ち寄りください。



西蔵に展示されていた創作人形展。表情が素晴らしいと評判（左2枚）／東蔵2階では壁面を利用して展示（右2枚）

「男の料理」も生きがいに 自らの手料理にご満悦

新たな趣味や生きがいづくりを目的とした「男の料理教室」が8月8日、中央公民館調理室で開かれました。約10名の参加者が挑戦したのは、ひやむぎ・麻婆ナス・きゅうりの浅漬けと夏らしい3品。普段料理をしない方も主催した町食生活改善推進協議会の方から野菜の切り方などを学んでいました。自らが作った料理を食べると「意外とイケる！美味しい！」と満足そうに話していました。



▲中には慣れた手つきで野菜を炒める参加者も

カネカ蔵カフェで弾き語りライブ 静かな夏の夜に癒しを

築120年のカネカ蔵カフェを会場に8月2日、オランダ人シンガーソングライターのルーン・スタールさんのピアノ弾き語りライブが開催されました。しっとりした選曲で約60名の来場者を魅了。女性客のひとり「娘の結婚式で流した曲を演奏された時は、涙が止まらなかった」と感無量の様子でした。開演前には庭でビュッフェ形式の食事を楽しみ、来場者は静かな癒しの夏夜を過ごしました。



▲休憩時にはサインや記念撮影を求める人が押し寄せた

▼夏を感じる絵はがきを制作。自信作を持ってパシャリ！



ぼすとでパステル画教室を初開催 子どもたちは作品づくりに没頭

夏休み真っ只中の7月31日、交流サロンぼすとでパステル画教室が開かれました。森の子ども図書館の皆さんが企画し、講師として佐藤洋美さん（下野明）をお迎え。参加した児童らは、ひまわりやイルカなど夏らしい作品づくりに熱中していました。講師の佐藤さんは「パステル画は指を使って描くのが特徴の癒しのアート。みんなコツを掴むのが早く、とても上手だ」と話していました。

▼金山校は生徒会のメンバーら3名が代表して発表した



小国町で小規模校サミット 新庄南高金山校が活動をアピール

生徒の少ない高校が全国から集まり、課題や取り組みを話し合う全国小規模校サミットが7月31日、昨年に続き小国高校で開かれました。全国から18校、約160名が参加する中、新庄南高金山校の生徒らは、町内外で実践しているボランティア活動や町行政と連携して行っている模擬議会などの事例を発表。小規模の金山校だからこそできる大きな取り組みをアピールする良い機会となりました。



1_指揮者小沼翔さんと1番員小沼睦さん。火点に狙いを定める 2_緊張感漂う「操法開始」 3_2番員小沼雅登さんと3番員三上翼さんは息ぴったり 4_第7分団第1部の皆さんで

みすぎ荘納涼会でめごたま園児と交流 スイカやアイスを食べる夏を満喫

7月30日、みすぎ荘納涼会が開かれ、認定こども園めごたま年長児と利用者の皆さんが交流されました。毎年恒例の納涼会に園児らが訪れるのは初めてのこと。ヨーヨー釣りやスイカ割りのほか、特別に出店されたババヘラアイスを食べながら、一緒に夏を満喫しました。利用者の方は「やっぱり子どもたちが来てくれると賑やかだ。気分も明るくなる」と笑顔を見せていました。



▲「おばあちゃん惜しい！もうちょっと右だよ！」

まちの わだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

消防操法最上支部大会 柳原消防団が見事な統率力を見せる

第41回山形県消防操法最上支部大会が7月28日、最上広域消防本部を会場に開催され、町を代表して第7分団第1部第2班（柳原）が出場しました。柳原は5年連続の出場。出場した管内8消防団が注目の眼差しを向ける中、堅実な操法技術と統率力を披露。昨年から順位を上げ、2位と健闘されました。地域防災の要である町消防団員の皆さん。今後ますますの活躍を期待しています。

▼お隣真室川町産のハチミツも出品。店主との会話も醍醐味



大盛況のめごたまマルシェ 地元産品を中心に売り切れも

認定こども園めごたま園舎を会場に7月27日、3回目となる「めごたまマルシェ」が開催されました。園舎・園庭が開放され、飲食店やワークショップ、アクセサリーの物販など35の個人・団体が出店。特に真夏日となったこの日、カキ氷やドリンクは売り切れ続出。訪れた多くの家族連は、並べられた地元産品などを手に取りながら、各ブースを思い思いに楽しんでいました。

8・9・10月に晴れて1歳の誕生日を迎えられる子どもたちを紹介します！



8・29
阿部 葉月くん（十日町）

葉月！1歳おめでとう！いっぱい食べて元気に育ってね！



9・6
柿崎 紡くん（内町）

笑顔がステキなつむぎ君、これからいっぱい食べて健やかに育ってください。



9・23
石山 みのりちゃん（十日町）

食べるの大好き！いたずら大好き！元気に育ってくれてありがとう。



10・1
正野 和樹くん（中下）

活発で甘えん坊な和樹君、お姉ちゃん達と一緒に元気に健やかに育ってね。



KANEYAMA 兼山 和生
協力隊がゆく！
引き続きいずえむで農業研修
ミニトマト管理やドローン操作補助も
三膳正桜 隊員



④ミニトマトの管理は芽かき、誘引、収穫などを行っています／⑤いずえむと言えば米粉のたこやき。農協まつりでは売り子として販売させていただきました

残暑お見舞い申し上げます。連日の猛暑には閉口しておりますが、皆さんお変わりなくお元気にいらつしゃいますか？本当にまだまだ暑い日が続いていますので、熱中症などには気を付けてください。

ちなみに7月の記事で「今年の夏は例年並みの暑さ、雨多し」と書いた記憶があります。天気予報は当たりだったと自信をもって言えます。気温は毎日30度と例年並みの暑さでした。また、仙台の友人と電話していると「雨ばかりで気が滅入る」と愚痴っていたので、ニュースの通り、かなり雨が降ったようです。金山ではあまり雨が降って

ないと話すと、すごく羨ましがられました。

さて、今回はいずえむでの研修内容について紹介します。主にミニトマトの管理（芽かき、誘引、収穫など）や、水稻の薬剤散布としてドローン操作の補助（ナビゲートなど）も行っています。ドローンの薬剤散布に興味のある方は、いずえむまでご連絡ください。

また、お祭りの時にたこ焼き屋さんの売り子も行っています。焼き方はまだまだ拙く手が遅いので、練習中ですが、祭りで見かけたらぜひとも声をかけてください。0円スマイルで応じてさせていただきます。

厚生労働省が公表する死因別にみた死亡率を見ると、昭和55年まで脳血管疾患によるものが1位でしたが、昭和56年以降、悪性新生物がこれを抜き1位となり、現在では全体の死因の約27.4%となり、さらに右肩上がりが増え続けています。

また、悪性新生物を部位別にみた死亡率では、男性と女性で若干の違いがあり、男性では肺がんを筆頭に大腸がん・膵がんが増加傾向にあるのに対し、女性では大腸がんを筆頭に肺がん・膵がん・乳がんの順に増加傾向を示しています。

そこで、悪性新生物で上位を占

める大腸がんの検査について、当診療所で7月より開始した大腸CT（CTC）検査を紹介したいと思います。

この検査は、血便や便潜血検査（大腸がんのスクリーニング検査）で、陽性となった患者様が対象となる二次検査のひとつになります。以前は、大腸透視（注腸）検査でしたが、使用するバリウムの入手が困難になったことや、検査の手法が大変であり患者様への肉体的負担が大きいのということや、大腸CT検査を導入することとなりました。

検査自体は、残渣がなくなり、きれいになった大腸に二酸化炭素ガス（CO2ガス）を約2〜4リットル充填し、腹臥位と仰臥位の計2回、腹部・骨盤までのCT撮影を行う検査となります。

なお、当診療所では行っておりませんが、大腸内視鏡検査のような、大腸カメラを大腸の奥まで挿入することは無いので、それによる負担や苦しみがありません。

血便や健康診断の便潜血検査で陽性になった場合には、外来でぜひ相談をしてください。



Forever in My Town !

いつまでも 住み慣れた金山で

Part.10

Enjoy My Life !

■まだまだ現役！
知恵や経験を活かそう！

介護予防に取り組んでいる皆さんは「足腰の痛みをとりたい、楽に体を動かしたい、身の回りのことを自分で続けたい、家族や友人と楽しく会話したい」などの目標を掲げていると思います。その先にある大きな目的は「社会参加」や「生きがいづくり」でしょう。

町内には、下記のように高齢になっても働ける場所や年を重ねたからこそ働ける場所があります。しかし、もっと多くの働く場があり、また、働きたい方もいるはず。その情報をつなぎ、より多くの高齢者が社会参加できる町を目指し



【働く方々の声】
仲間と一緒に励まし合い、時には競い合い…。会話がはずみ、何でも相談できる人間関係がある。お小遣いになるし、生きがいを感じている。

問 金山町地域包括支援センター
☎ 52-13035

ます。「こんな仕事がある」「自分も働ける場所がないか」などの情報があれば、ぜひ地域包括支援センターまでお寄せください。

■こんな「働く場」があります

- シルバー人材センター
豊かな経験や能力を活かし施設管理、除草、障子張り、除雪や介護等を行います。
- NPO法人さわやかサロン（有償ボランティア）
サロンで昼食の調理や配膳、手工芸やレクリエーション等のお手伝いを行います。
- 有屋ファーム
二つの収穫、ゴミ取り、結束等の作業を行います。

第2回寿大学

舞台発表会と作品展示会

- ▼日時 9月19日(木)
9時30分～11時30分
- ▼会場 中央公民館
- ▼対象 町外の方を含むどなたでも歓迎
- ▼内容 唄や踊り、かくし芸など「芸」の披露と手作り作品の展示
- ※町内の60歳以上を対象に舞台出演者・手作り作品の出展者を募集

〒5212902
中央公民館(生涯学習・社会教育係)

歴史学講座で南陽市へ！

- ▼日時 9月20日(金) 8時～17時
- ▼費用 1,520円(昼食代・入館料・案内料)

▼見学 置賜三十三観音(新山観音、宮崎観音他)、夕鶴の里資料館

〒5212902
中央公民館(生涯学習・社会教育係)

排水設備工事責任技術者
県内統一試験

- ▼日時 11月17日(日)
13時～15時30分
- ▼会場 協同の杜J-A研修所
- ▼締切 9月30日(月)
- ※希望者を対象に受験講習会を開催

〒5212111(内線279)
役場環境整備課環境下水道係

山形県商工会等職員採用試験

- ▼職務 県内市町村の商工会における地区内事業所の経営指導業務または経営指導補助業務
- ▼採用 経営指導員・経営支援員
いずれも若干名
- ▼受付 9月24日(火)～10月1日(火)
- 〒5212349
もがみ北部商工会 金山事務所

シルバー人材センター
正職員募集

- ▼業務 一般事務及び現場指導業務
- ▼採用 1名(令和2年4月1日付け)
- ▼資格 高校卒業以上(35歳未満)かつPC操作が可能で普通自動車運転免許を取得している方

▼締切 9月20日(金)

〒2213065
新庄・最上地域シルバー人材センター

応急手当普及員養成講座

- ▼日時 10月12日(土)～14日(月)
いずれも9時～18時
- ▼場所 最上広域消防本部
- ▼内容 応急手当に関する知識と技能の講習とそれらの指導方法
- ▼費用 受講無料
- ▼締切 9月30日(月)

〒2217521
最上広域消防本部 救急係

親子でスポーツ！参加者募集

- ▼日時 10月12日(土)
9時30分～12時
- ▼会場 すぽーていあ
- ▼対象 幼児から小学校低学年くらいまでのお子さんとその保護者など
- ▼費用 参加無料(事前申込が必要)
- ▼締切 9月20日(金)

〒2911245
最上総合支庁子ども家庭支援課

「介護のしくみ」ミニ講座

- ▼日時 9月25日(水)
13時30分～15時
- ▼場所 ハローワーク新庄
- ▼内容 介護職員による講話
- ▼費用 受講無料
- 〒023163317739
山形県福祉人材センター

チエリアフェスティバル山形

- ▼日時 9月29日(日) 9時～16時
- ▼場所 文翔館(山形市)
- ▼内容 吉永みち子氏講演会(要申込)、親子で楽しめる実験教室、キッズコーナー、各種展示など
- ▼費用 参加無料

〒023162917751
山形県男女共同参画センターチエリア

県立山形盲学校イベント

- ▼日時 9月23日(月) 13時～15時
- ▼場所 霞城セントラル
- ▼内容 テーマ「来て、見て、さわって、やってみて」体験ー見えない、見えにくい世界ー
- ▼費用 参加無料
- 〒023167214116
山形県立山形盲学校

東日本チェーンソーアート
競技大会

- ▼日時 9月15日(日)～16日(月)
9時～(16日は9時30分～)
- ▼場所 遊学の森
- ▼内容 【15日】メインカービング・森カフェ／【16日】スピードカービング・特産品販売・有屋少年番楽披露など

〒0231643305
遊学の森「木もれび館」

作品は直接交際して
その場で買えちゃう！

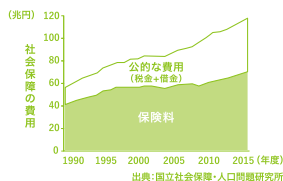
2019年10月1日、
消費税・地方消費税の税率は10%※へ。

※10%のうち2.2%は地方消費税です。

政府広報

なぜ、税率が
上がるんですか？社会保障制度を次世代に引き継ぎ、
みんなが安心できる社会にするため

日本では高齢化が進み、社会保障の費用は増え続けています。みんなが安心できる社会にするためには、安定した財源を確保し、社会保障制度を次世代に引き継ぐとともに、全世代型へ転換していく必要があります。そのためには10%への税率の引上げが必要です。

引上げ分は何に
使われるのですか？すべての世代を対象とする
社会保障のために

引上げ分は、消費税・地方消費税ともに、全世代を対象とする社会保障の充実と安定のために使われます。例えば①待機児童の解消、②3歳から5歳までの幼児教育・保育の無償化、③真に支援が必要な学生の高等教育(大学など)の無償化、④介護職員の処遇改善、⑤所得の低い高齢者の介護保険料の軽減、⑥所得の低い年金受給者への給付金の支給などです。

家計や景気への影響は
大丈夫ですか？家計と景気、両方の視点から
対策を実施します

税率引上げに伴う家計への負担を減らすため、飲食品(お酒・外食を除く)と新聞(定期購読契約、週2回以上発行)に係る税率を8%に据え置きます(軽減税率制度)。このほか、家計や景気への影響を緩和するための各種対策を実施します。



知っていますか、地方消費税 一般に「消費税」と言うのは、消費税(国税)と地方消費税(地方税)を合計したものです。地方消費税収は、地方自治体の貴重な財源として、住民の皆様の身近な行政に生かされています。

政府広報 消費税

検索



10月13日@はみんなで金山町産業まつりへ！

【お問い合わせ】産業まつり実行委員会事務局(役場産業課内) ☎52-2111

今年の金山町産業まつりは10月13日に開催！ぜひ会場にお越しいただき、金山の秋を楽しみましょう。

- カラオケのど自慢
- 番楽・舞踊披露
- 餅つき振る舞い
- 地酒試飲コーナー
- 金魚すくい
- 川魚つかみどり
- など

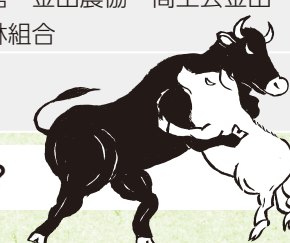
また、物産販売の出店者を募集中です。我が家で採れた自慢の野菜など、出品を通して、まつりを盛り上げませんか？

- 物産販売
- 出店を希望する町内の個人や団体は、9月25日(水)までご連絡ください。

●焼肉コーナーチケット(金山牛200g・米の娘ぶた150g・野菜のセット)

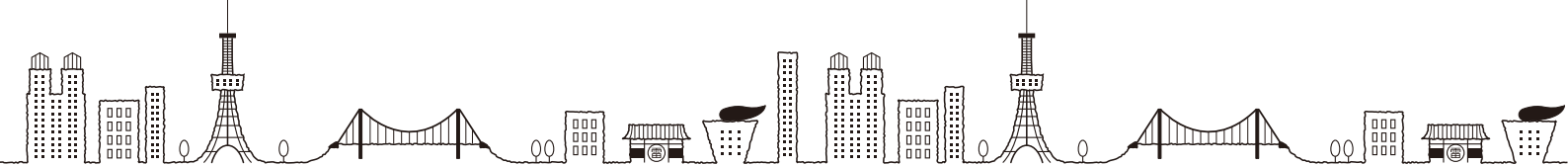
種類	価格(1枚)	枚数	販売先
前売券	2,000円	900枚	役場・中央公民館・金山農協・商工会金山支部・金山町森林組合
当日券	2,200円	100枚	会場受付

金山牛と米の娘ぶた、あなたはどちらがお好み？



第四十回

産業まつり



東京金山会通信 No.5

問い合わせ

東京金山会 広報担当（藤山善夫）
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

7月13日、第61回東京金山会総会の反省会を行いました。久しぶりに会った皆さんから「どのようにしたらもっと楽しめるか」を基本に、プログラムの見直しや新しい会員様への呼び掛け方など多くの素晴らしい意見が出されました。来年は今年以上に盛り上がる東京金山会になるように、役員一同頑張りますのでご参加をお待ちしています。反省会後は暑気払いで身体に溜まった熱気を取り除きました。

また、今年の最上地域ふるさと連合会は7月7日～8日の2日間、51名で舟形町を親訪訪問しました。舟形名産の鮎の塩焼きをご馳走になったほか、縄文の女神像やマッシュルーム生産所を見学させて頂きました。

東京金山会通信は皆様方のご協力でNo.5となりました。金山町と東京金山会の橋渡しになれるようにこれからも継続していきますので、ご意見など頂けたら幸いです。よろしくお願いします。



④総会反省会後の暑気払いの様子。来年はさらに盛り上がるよう意見が出されました／⑤最上地域ふるさと連合会で訪れた舟形町で見学した西ノ前遺跡の国宝縄文の女神像。他にも町内各地を見学しました

No.165

「森の子ども図書コーナー」

交流サロンぱすと内



『山の図書館』

〔肥田美代子／作〕
〔小泉るみ子／絵〕

ある日のこと、おばあさんが畑から帰って来ると押入れにしまっておいた古い箱が座敷に出されてありました。中には、昔おばあさんが子どもたちによんであげていた本がいっぱいつまっています。久しぶりに声に出して読んでみました。ガサガサ。後ろに何かの気配が。「だれかがわたしのこえをきいていたのかしら。」その夜。一人の静かな男の子がおばあさんのもとへやってきました。おばあさんは本を読んであげました。毎晩毎晩こんな遅い時間に。帰っていく男の子についていった先にはほら穴が……。そおとのぞきこんでみると……！



※（ ）内作者名

超超超超むずかしすぎるまちがいさがし（松澤里恵子他）
／まんがでわかる発達心理学（渡辺弥生監修）／ともだちに話したくなる恐怖の百物語（いしいいくよ）／ページをめくってゾッとする1分で読める怖い話（麻生かづこ）／希望の糸（東野圭吾）／ほどなく、お別れです（長月天音）

「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00



『ある晴れた夏の朝』

（小手鞠るい／偕成社）

ぼくたちにとって「原爆」とはなんだったのか？——出自のちがうアメリカの高校生が、広島と長崎に落とされた原爆の是非について語り合う。日系アメリカ人のメイは、否定派の一人として演壇に立つことになった。アメリカ在住の著者が若い世代に問いかける。「戦争」の歴史と記憶。



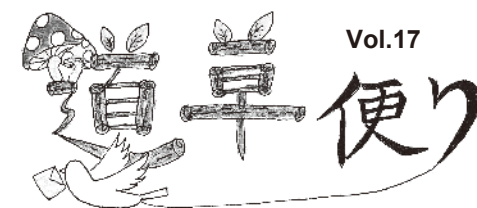
『百花』

（川村元氣／文芸春秋）

大晦日、実家に帰ると母がいなかった。息子の泉は、夜の公園でブランコに乗った母・百合子を見つける。それは母が息子を忘れていく始まりの日だった。母の記憶が失われていくなかで、泉は一度、母を失ったことを思い出す。現代において、失われていくものの、残り続けるものとは何か。

／今月は18冊！／

／外国人労働者・移民・難民ってだれのこと？（内藤正典）
／おべんとうの時間(4)（阿部了・阿部直美）／マチのお気楽料理教室（秋川滝美）／ノーサイド・ゲーム（池井戸潤）
／さよならの儀式（宮部みゆき） そのほか7冊



山形大学の地域連携型サークル「Team道草」

道草だよりでは、彼らの町内での活動を紹介！

「金山町×大学生」で産まれる新たな可能性を模索します



闇夜に煌々と照らされ山車制作に勤しむ姿は、とてもクールに映った

十日町地区「山車コミュニティ」

8月6日、夜8時。十日町の山車づくりにお邪魔しました！

今回、楽しげにお話ししてくださったのは副頭の柿崎さん。山車は見たことはあるものの、なかなか作る途中は見られないもの。得意分野に分かれて、紙を貼ったり、釘を打ったり、大きな作業から細かい作業まで「せっかく作るのであれば手を抜かない」気持ちで丁寧になられていました。

私たちは「こんなにしっかりと作られているのにすぐ壊されちゃうのはもったいないよ！」と思ったものの、

それも文化。十日町地区では、山車男がぞろぞろと集まり手を止めずに作業している姿や制作途中の迫力ある山車を、スポ少帰りの親子やおじいちゃんを引き連れてやってきた小さな子どもたちが足を止めて見ていました。

こういった姿は、私たち大学生にとっては当たり前ではないし、とても素敵なことに思えました。山車づくりで集まる人々とそれを見守る地区の子どもなど、十日町には祭をきつかけに生まれた様々な「コミュニティ文化」が代々受け継がれていました。

ぶんばい

金山杉俳句会報 第四三二回

娘の身命祈る社の花しようぶ
先生の先生も居て夏講座

星川 きえ子

山は夏青々として山は夏
紅花で染めしハンカチ胸に秘め

岸 あき子

鎧着て羽化待つヤゴのあすの夢
夕暮の池を震はす墓の声

高橋 洋子

老鶯の声満ち亘る草木堂
夏蝶の翅の眩しき神の庭

鶴沼 よし子

夕暮のどくだみの花人恋し
紅花を土産に唄ふボランティア

阿部 サタエ

かねやま紅風会

下駄履けば想ひは軽ろし夏の宵
名も知らぬ花も咲きをる魂迎へ

荒屋 阿部 勝子

参政院投票所立会人に参加
国政へ参加うれしき夏ひと日
溜池や見飽きぬ程の蓮の花

荒屋 関 喜美子

手花火や子等のお客は大人たち
冷房のスーパーゆったり別世界

菅 越 庄司 けみ子

立葵腰の曲がりを笑ふかに
夏蝶や対でジグザグ絡み合ひ

七日町 柴田 栖静

人類の勝者えらびか星月夜
しばらくは月に供へず夏料理

羽場 坂本 徳太郎

積みきれぬ懺悔に揺らぐ流灯会
逞しき孫ひき連れて盆の墓

上台 阿部 一步

街角の市場賑ぎはし盆仕度
中元は地産の品や微笑まし

七日町 村松 奈風



いまこそ集落創生

第18回 谷口地区



旧谷口分校の空中写真（平成29年5月17日にドローンで撮影）。現在は更地になっているこの地に今秋、19本のオオヤマザクラが植えられる。満開の桜で埋め尽くされる新たな光景を住民の皆さんも今から楽しみだと話す。

北東から南西へ約4kmにわたって住宅が続き、県道平岡日当に沿って集落を形成している谷口地区。谷口・菅越・手代森の3集落で構成されており、およそ120名（30世帯）が暮らしています。

「ここ2、3年、地区でも色々なことがあった」と日向幸一（こうちけい）区長は話します。谷口銀山とともに地域のシンボルとして活用されてきた旧谷口分校が、思いもよらぬ火災により焼失したのは2年半ほど前の出来事。区長は「分校を拠点に、たくさんの交流が生まれた。母校として住民の思い出が詰まっていたことを思うと、言葉が出なかった」と振り返ります。現在は更地となっている分校跡地。町でも活用方法を検討していましたが、このたび11月2日、地区の協力を得て山形新聞・山形放送の「最上川さくら回廊事業」で、オオヤマザクラの苗木19本が植え付けられることが決まりました。「桜が大きく育ち、新たな交流のきっかけになればよい」と春が待ち遠しように区長は話します。

地区運営の基本は「後世に負担のかかるようなものは残していかない」。水路などの共有財産について、管理のしやすい方法を検討していく方針のよう。現役世代が減少している中にあるのは、合理的な方法なのかもしれません。一方で、谷口地区には複数の歴史的資産が現存。現地調査をした横浜国立大学の大野教授は、地域と大学が連携を強化し、価値を活かした継承手法を検討する必要があるとしています。銀山や分校跡地、旧家住宅など高い潜在能力を秘める谷口地区。各方面の協力を得ながら、植樹を皮切りに資源の活用にも挑んでいきます。

金山町の人口は、5,452人（7月末現在）

	男性	2,652人（-5）
	女性	2,800人（-3）
	世帯数	1,760世帯

▼7月の異動

出生	2人
死亡	8人
転入	1人
転出	3人

編集 幸記

▼今年の夏は暑かった。毎年言っている気もしますが、この猛暑はしっかりデータが示しています。気象庁金山観測所の計測によると、8月5日から4日連続で35℃越えの猛暑日。昨年8月23日に観測した過去最高気温36・8℃は惜しくも（？）更新できませんでしたが、記憶に残る暑い夏となりました。

▼夏といえば金山まつり。今年も皆さんの躍動を記録させていただきました。全てを載せきれず申し訳ですが、ぜひご覧下さい。（つま）